

13. マレーシア

■正式国名：マレーシア

Malaysia

■政治形態：立憲君主連邦制

■面積：33万km²（日本の約87%）

■人口：3,394万人

■言語：マレー語（国語）ほか

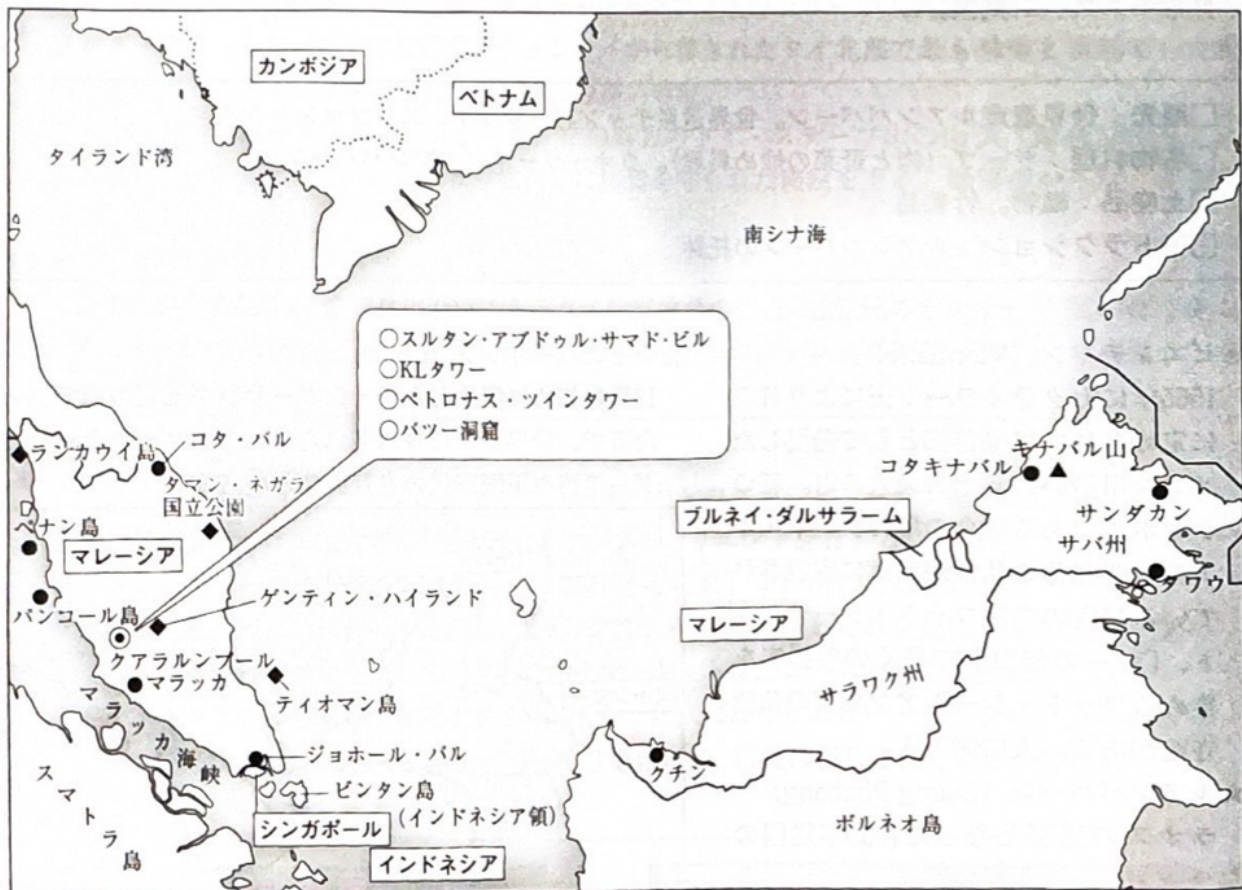
■通貨：リンギット（1リンギット＝35.0720円）

■住民：マレー系が約70%、中国系が約23%。その他インド系など。

■宗教：イスラム教が61%、仏教が20%。

■地勢：マラッカ海峡を挟んでインドネシアのスマトラ島と向かい合うマレー半島の南部は、丘陵性山脈と平野からなる。ボルネオ島の北東部サバ州はキナバル山（標高4,095m）を有し、山がちだが、南西部のサラワク州は大部分の土地が300m以下の低湿地となっている。

■気候：全般に熱帯雨林気候で、10～2月は雨季でスコールが多い。



- 観光：世界遺産の熱帯の森ボルネオ島巡り（世界最大級の花ラフレシアなどが見られるキナバル自然公園）。高原リゾート（ゲンティン・ハイランド、フレイザーズ・ヒル）。タマン・ネガラ国立公園（ボートでクアラ・テンベリン～クアラ・タハン、園内トレッキング）
- 名物料理：サテー（マレー風焼き鳥）。ラクサ（米粉の麺料理）。ルンダン（ココナッツミルクと香辛料で煮込んだ肉）。ミー・ゴレン（焼きそば）。バクソ（マレー風ミートボール）
- 土産品：ピューター（錫器）。パティック（ジャワ更紗）。陶器。マレー風。手織物。木彫製品
- アトラクション：影絵芝居。マレー拳法。コマ回しなどの伝統芸能鑑賞（コタ・バルのクランタン・カルチュラル・センター）。スランゴール川のホタル観賞。ゲンティン・ハイランドのカジノ

●クアラルンプール (Kuala Lumpur)

19世紀半ばに錫鉱山開発の拠点としてクラン川とゴンバク川の合流点に発達した、マレーシアの政治・経済・文化の中心地。東洋的な町並みの地区と欧米式の中心地区が混然としている。人口198万人。

○スルタン・アブドゥル・サマド・ビル／1894年、イギリスの建築家によって建てられたレンガ造りのビル。中央の時計塔の高さは40m。旧連邦事務局ビルで、現在は文化省管轄となっている。

○KLタワー／塔としての世界第7位（アジア第5位）の高さ（420m）を誇る通信タワー。

○ペトロナス・ツインタワー／尖塔高452mを誇るツインタワー。41階のスカイブリッジからの眺望が人気。2つのビルが対となっているビルとしては世界第1位の高さ。

○バツ洞窟／市の北約13km、ヒンドゥーの神を祀る聖地の洞窟。周辺に数多く生息するサルを見ながら、272段の階段を上がると大鍾乳洞がある。

●ゲンティン・ハイランド (Genting Highlands)

クアラルンプールから車で東へ約1時間の所にある標高約1,700mの高原リゾート。カジノと遊園地、ゴルフ場などがある。

★タマン・ネガラ国立公園

3州にまたがる4,343km²の広大な国立自然公園。タハン山（2,187m）、峡谷、密林など変化に富んだ雄大なジャングルには、ゾウ、トラなどの野生動物のほか、鳥類や昆虫が多く生息している。

●ペナン島 (Penang)

マレー半島の北西岸にある「東洋の真珠」と称される、バトゥ・フェリンギ・ビーチなどを擁する海浜リゾート。オランダ製の大砲が象徴となっているジョージタウンのコーンウォーリス砦、7層のバゴダが美しい仏教寺院の極楽寺、毒蛇が住み着いているヘビ寺などがある。屋台料理が楽しめる島としても知られている。

●パンコール島 (Pangkor)

マレー半島の西海岸ペナン島の南約120kmに位置する島。政府が観光開発に乗り出し、最近売り出し中のリゾート。島の中央部は手付かずのジャングルに覆われ、素朴さが残る。

●マラッカ (Malacca)

かつてポルトガル、オランダ、イギリスに支配されたマラッカ海峡に臨む貿易港であり、マレー半島最古の都市のひとつ。フランシスコ・ザビエルが日本へ来る前に活動していた地。町の中心のオランダ広場、オランダの侵攻に備えてポルトガル人が築いたサンティアゴ砦、ザビエルゆかりのセントポール教会などが見どころ。

●ジョホール・バル (Johor Bahru)

マレー半島南端の都市。ジョホール水道を隔てて対岸にシンガポールがある。

◆ティオマン島 (Tioman)

南シナ海に浮かぶサンゴ礁とジャングルの島。映画「南太平洋」のロケが行われた海浜リゾート。ティオマン島博物館、ブラウ・ティオマン・マリナーパークなどが見どころ。

◆ランカウイ島 (Langkawi)

マレーシアの北西部、アンダマン海に浮かぶ99の島々から成る海浜リゾート。マチンチャン山（標高709m）の頂上にある展望台まで20分で行くケーブルカー、マレーシア最大規模の水族館アンダーウォーター・ワールド、ワニのショーが見られるクロコダイル・ファームが人気。世界ジオパーク。

●コタキナバル (Kota Kinabalu)

東部のサバ州の州都。東南アジアの高峰のキナバル山（標高4,095m）への玄関口として知られる。

●サンダカン (Sandakan)

ボルネオ島の北東にあるサバ州第2の都市。商業が盛んな交易地として栄えた。オランウータンやテングザルなど野生動物が生息する貴重な森を守るため、保護区の制定や植林が行われている。